

令和7年度 井高野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)			平均IRTスコア
			国語	数学	国語	数学		
3 年	学校	91	50	40	7.1	14.4	学校	454
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2	大阪市	489
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6	全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語
3 年	学校	88	62.6	51.1	51.0	41.2	48.8	5.6	4.5	9.5	9.5	7.3
	大阪市	—	64.8	51.5	54.3	46.5	54.4	6.1	5.8	11.1	9.4	6.5
9月2日	大阪府	—	64.2	51.2	53.9	46.0	53.2	6.8	6.5	12.1	11.0	7.4

※ 3年生の理科はB問題を選択

令和7年度 井高野中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

●全国学力・学習状況調査結果:3年生対象

【正答率・無回答率の大阪市・全国との比較等】

〈国語〉

平均正答率:大阪市平均－2.0ポイント、全国平均－4.3ポイント

平均無解答率:大阪市平均＋0.3ポイント、全国平均＋0.4ポイント

〈数学〉

平均正答率:大阪市平均－6.0ポイント、全国平均－8.3ポイント

平均無解答率:大阪市平均＋3.2ポイント、全国平均＋3.8ポイント

〈理科〉

大阪市平均IRTスコア－35ポイント、全国平均IRTスコア－49ポイント

【生徒アンケート結果】

※質問一部抜粋。道徳的意識や社会貢献意欲が全国平均を上回った。

○いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。

＜井高野、大阪市、全国＞95.6%、95.4%、95.9%

○人が困っているときは、進んで助けていますか。

＜井高野、大阪市、全国＞94.4%、91.0%、90.9%

○人の役に立つ人間になりたいと思う。

＜井高野、大阪市、全国＞97.8%、96.7%、96.6%

○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。

＜井高野、大阪市、全国＞77.8%、75.1、75.3%

【成果と課題】

〈国語〉

「読むこと」の領域は、大阪府平均とほぼ同水準であった。短文式の問題で、2題ともに平均正答率で全国を上回った。しかし、「話すこと・聞くこと」の領域が、全国と比較して-6.5%であり、助言の意図についての選択問題や、必要な助言を自分で考える記述問題で課題が見られた。

〈数学〉

図形に関する問題において、全国・大阪府の平均正答率に近づいている。しかし、数と式やデータの活用の領域において、素数や相対度数などの数学用語が入った問題での平均正答率が低く、課題が見られた。

〈理科〉

「粒子」を柱とする領域の2問において、平均正答率が大阪府平均を上回ったが、元素記号の記述や、必要な実験を選び、予想される結果を記述する設問での平均正答率は全国平均を下回った。また、IRTバンド5・4の割合が大阪府・全国と比較して-8.5%、-11.9%であり、IRTバンド1の割合が大阪府・全国と比較して+3.7%、5.9%であった。基礎学力の定着に課題が見られる生徒が多いという結果になった。(IRTバンドとは、IRTスコアを1～5の5段階に区切ったもので、3を基準とし、5が最も高いバンドとなります。)

【今後に向けて】

〈国語〉

話し合いの中で、必要に応じて質問を交えながら話題や展開を捉え、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめ、資料等を用いてわかりやすく伝える力を養う。自分の考えを書く問題では、主張したい内容を明確にし、自分の考えを言葉で表現できるようにする。漢字においては、朝学習や校内での漢字能力検定受検で定着を図る。

〈数学〉

日常の事象を数理的に捉え、解決の過程や結果を振り返って考察する活動を取り入れる。また、数学的な表現を用いて筋道を立ててわかりやすく説明する活動を取り入れる。正しい数学用語を使い、正答を導きだすまでの過程を的確に表現するよう指導する。問題文を要約し、必要な項目・事柄を正確に読み取る力を育て、ICT等を利用し、データ、資料等を収集・整理し、それらを基にデータ分布の特徴・傾向を読み取る力を養う。

〈理科〉

実験の目的や手順に関する理解の定着を図るとともに、実験結果の予測を生徒自身が考える活動を増やす。「なぜそうなるのか？」を問う場面を設け、思考・判断・表現に関する記述式問題への対策を講じる。

〈全体〉

子どもが授業や教科を好きだと思える気持ちを引き出し、基礎学習の反復と、記述問題への取組に力を入れることにより得点力の向上を図る。今後もICTを取り入れ、子どもたちへわかりやすい授業を展開する。

令和7年度 井高野中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

●中学生チャレンジテスト(3年生)結果

【大阪市・大阪府との平均点・無解答率の比較】

〈国語〉

平均点: 大阪市平均－2.2ポイント、大阪府平均－1.6ポイント

平均無解答率: 大阪市平均－0.5ポイント、大阪府平均－1.2.ポイント

〈社会〉

平均点: 大阪市平均－0.4ポイント、大阪府平均－0.1ポイント

平均無解答率: 大阪市平均－1.3ポイント、大阪府平均－2.0ポイント

〈数学〉

平均点: 大阪市平均－3.3ポイント、大阪府平均－2.9ポイント

平均無解答率: 大阪市平均－1.6ポイント、大阪府平均－2.6ポイント

〈理科B〉

平均点: 大阪市平均－5.3ポイント、大阪府平均－4.8ポイント

平均無解答率: 大阪市平均＋0.1ポイント、大阪府平均－1.5ポイント

〈英語〉

平均点: 大阪市平均－5.6ポイント、大阪府平均－4.4ポイント

平均無解答率: 大阪市平均＋0.8ポイント、大阪府平均－0.1ポイント

【成果と課題】

5教科ともに、大阪市や大阪府の平均点を下回る結果となったが、社会については、ほぼ平均点と差のない結果となった。また、無回答率が低い点からは、課題に対して意欲的に向き合う姿勢がみられた。

基礎学力に課題がみられるため、全体的な学力の底上げが必要である。反復学習の継続や習慣化のほかに、子ども達の学習意欲を大切にしながら、主体的に自身の課題をみつけ、解決していく力を養う必要がある。

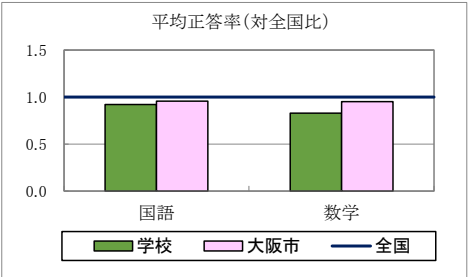
記述式問題に対しては、問われている内容を正しく理解し、必要なキーワードを適切に組み合わせる力や、自分の考えを簡潔に解答する力を付けたい。

令和7年度 井高野中学校のあゆみ
 ―結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について―

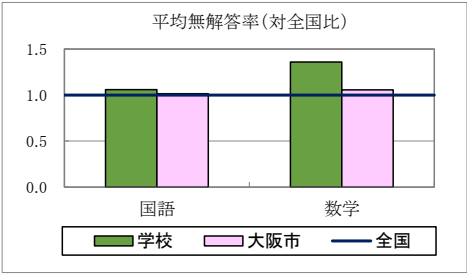
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	50	40
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

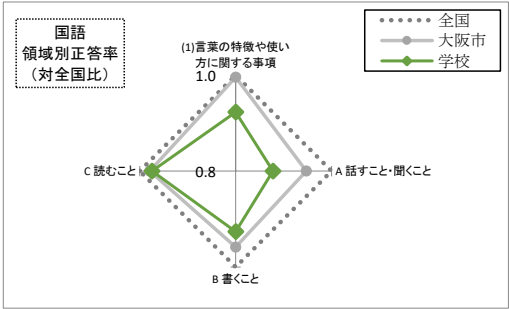
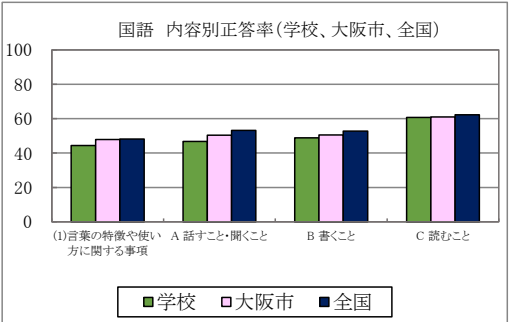


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	7.1	14.4
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



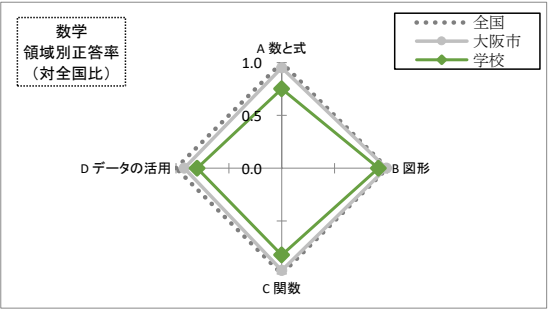
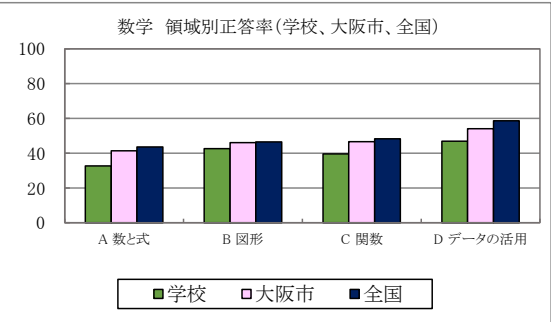
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	44.4	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	46.7	50.4	53.2
B 書くこと	5	48.9	50.6	52.8
C 読むこと	3	60.7	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	32.7	41.4	43.5
B 図形	4	42.6	46.1	46.5
C 関数	3	39.6	46.6	48.2
D データの活用	3	46.9	54.0	58.6

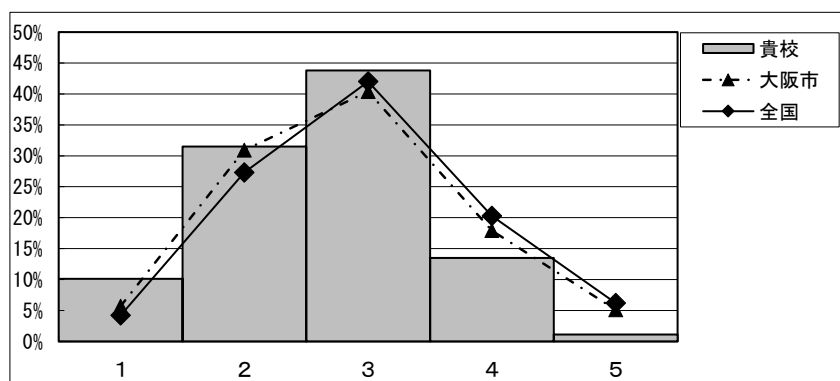
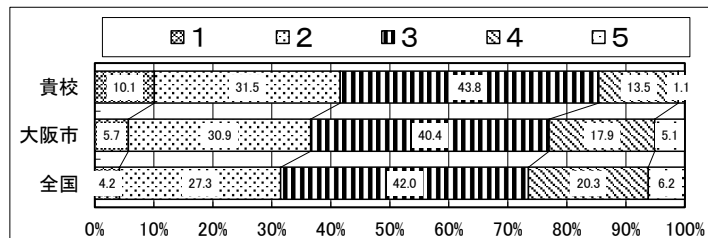


令和7年度 井高野中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	454
大阪市	489
全国	503



令和7年度 井高野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より

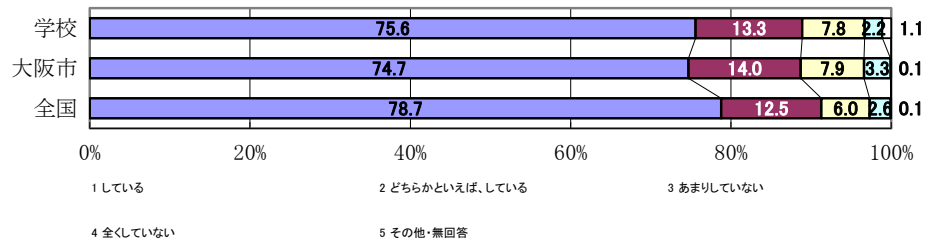
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

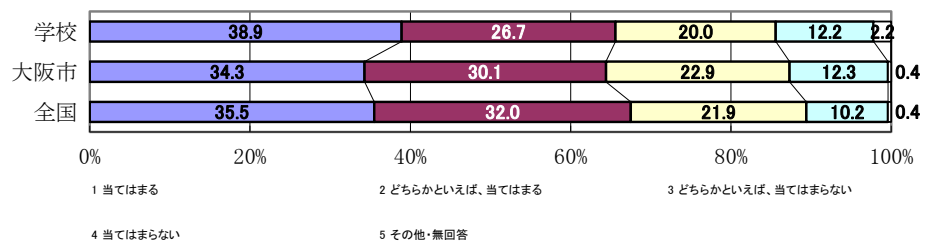
1

朝食を毎日食べていますか



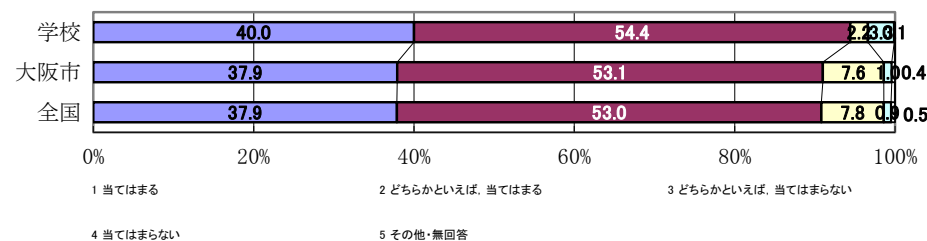
7

将来の夢や目標を持っていますか



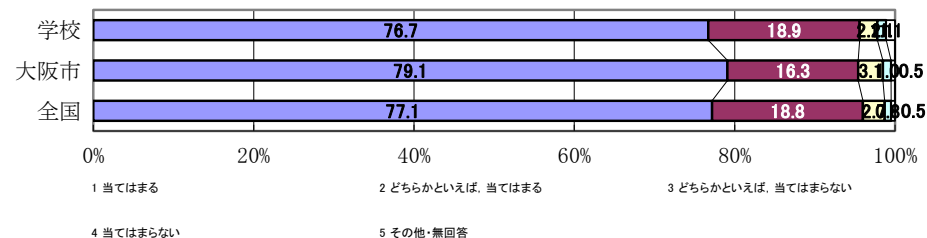
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



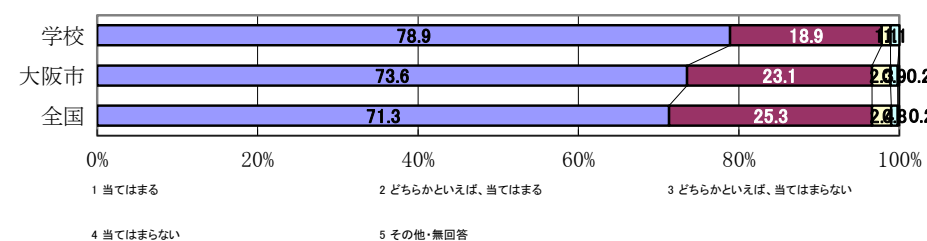
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



令和7年度 井高野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

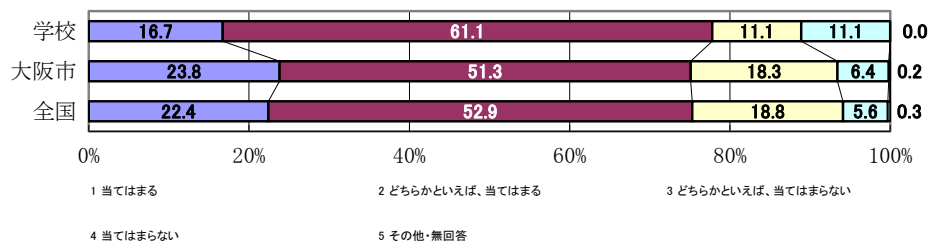
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

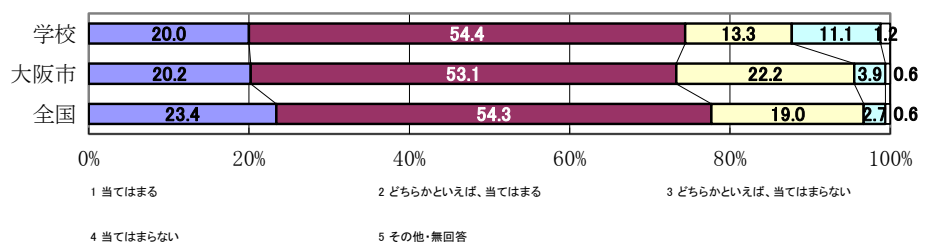
27

地域や社会をよくするために何か
してみたいと思いますか



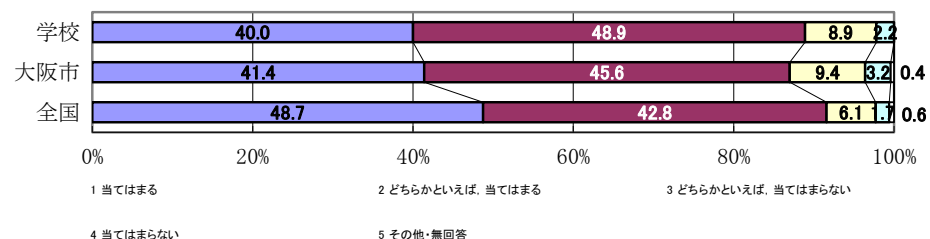
32

1、2年生のときに受けた授業
では、課題の解決に向けて、
自分で考え、自分から取り組
んでいましたか



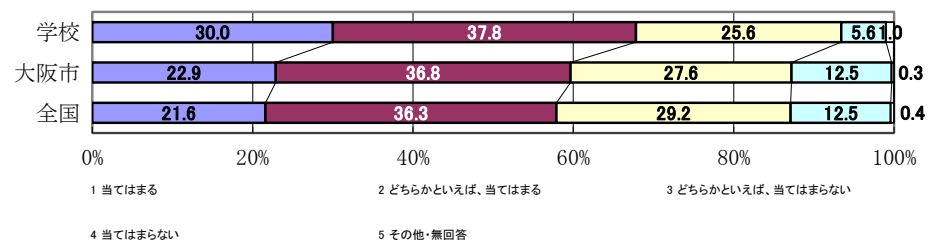
43

道徳の授業では、自分の考えを深
めたり、学級やグループで話し
合ったりする活動に取り組んでいま
すか



45

国語の勉強は好きですか



54

数学の授業の内容はよく分か
りますか

